

第1回 第2回
10/13 土曜日 13:00~16:00

休憩を挟んで 同日連続講義

「オーディリー・ヘップバーンの革命」妖精として現れた彼女が日本の観客に与えたインパクトが、多くのサブカルチャーを変えていった事実を検証。合わせて薄所の系譜も解説。

第3回 第4回
10/20 土曜日 13:00~16:00

休憩を挟んで 同日連続講義

「秋元商法の変遷」おにゃんに始まり、モエ娘。AKBへと続く戦略の分析と状況の変化を解説。メジャー不在に至った経緯を解析文化の「総カラオケ化」に潜む異とは？

「ユーミンから宮崎アニメへ」メディア人主義の台頭と細分化の進行」たった一人がジャンルを代表する時代へ。共通項を失って迷走し始めるマスメディアの現状。

第5回
10/27 (土)
13:00~14:30



「グローバル化とローカル化の狭間で揺れるマスメディア」昇華することのできないモノマノ文化。今こそ必要なルネサンスの思想。原点回帰の芽に注目！何も知らないことの強み？本物を押し付ける勇気。刺激からの脱却と不安の解消に必要なものは何か？クラシックの魅力を伝えるのは今！



大分県立芸術文化短期大学 公開講座

メディアで理解者 今時の若者

～AKBはこのままTOPスターか？～
現役テレビ製作者にして大学教師が明かすこれからのメディア



狩谷新

<講師のプロフィール>

大分県立芸術文化短期大学 情報コミュニケーション学科 講師（映像メディア論）

東京都出身。電通映画社（現電通テック）にてTVC制作を学んだ後、産業映像製作者として、三菱商事・日産自動車の作品を制作、オフィス・トゥー・ワンにて、「ニュースステーション」等、多くのテレビ番組をNHKはじめ在京全ての局で制作、朝日新聞社の協力を得てインターネット放送局の立ち上げの後、早稲田大学大学院にて映像制作講座を始め、現在、熊本大学・立命館アジア太平洋大学にて講座を担当。舞台劇による世界の古典文学上演を行う講義を立案「平家物語」「源氏物語」から「モーツァルト」「ラファエロ」の生涯など18作品を舞台化。

若者のTV離れが進む一方で、SNSなどの表現メディアの台頭があり、誤った「個性尊重」教育を受けた若者は、今、極端に不安定な状態にあります。総カラオケ化が進む中でプロの果たすべき役割を考えます。

- 対象：大分県在住の方（高校生以上）
- 定員：100名程度（申し込み多数の場合は抽選となります）
- 受講料：一般千円（全5回分） 高校生・学生無料
- 締切：2012年10月10日（水）当日消印有効
- *受講を希望される方は「住所」「氏名」「電話番号」を明記の上、電子メール、往復はがきのいずれかで、下記のあて先までお申し込みください。電話では受け付けません。
- 宛て先：〒870-0833 大分市上野丘東1-11
大分県立芸術文化短期大学公開講座（メディア）係
- E-Mail：k-kouza02@oita-pjc.ac.jp
- 問合せ先：情報コミュニケーション学科（097-545-8916）

*ご応募いただいた個人情報は本講座以外には使用いたしません。

大分県立芸術文化短期大学 人文棟 1階視聴覚室
(JR大分駅南口から徒歩10分)